

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた 科学技術イノベーションに関する想定プロジェクトについて

以下に列挙する想定プロジェクトについては、本年6月に閣議決定された科学技術イノベーション総合戦略2014の第2章第3節に記載されている想定プロジェクトを踏まえ、各府省に追加の想定プロジェクトも含め、2020年実用化に向けてどのように各府省の研究開発が貢献できるのか照会を行い、具体的な事業化イメージまで検討したものである。

今後、本タスクフォースでのご意見を頂き、プロジェクトの選択や追加等を行い、その実施内容の精査を行っていく。

■想定されるプロジェクト一覧

①	海外からの来訪者等に多様なサービスを提供するための意思・情報伝達サポートの実現
②	世界各国から多くの人が入り込むことで懸念される感染症流行を迅速に探知するための感染症サーベイランスの強化
③	メダル獲得が期待される競技を対象とした競技用具等の研究開発の技術成果を含む諸施策の活用により、高齢者・障がい者に対応したコミュニケーションや機能支援機器等の確立、生体情報の活用などによる最先端ヘルスケアシステムの実用化
④	東京の成長と高齢化社会を見据えた公共交通システム、交通弱者の歩行・移動支援システムの実用化
⑤	発電や自動車に水素またはエネルギーキャリアを用いた水素社会実現への貢献
⑥	ゲリラ豪雨・竜巻等の突発的自然災害の予測技術向上と確実な情報伝達による安全・安心の確保
⑦	犯罪・テロ対策等に資するための多地点に設置されたカメラ・センサーデータ等の取得・分析技術の確立による安全な大会開催の実現
⑧	超臨場感技術の研究開発による新たな映像体験の実現
⑨	夏場における花きの安定生産供給技術及び日持ち性延長技術の開発・普及